



令和3年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年6月12日

上場会社名 株式会社 精養軒

上場取引所 東

コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和2年6月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和3年1月期第1四半期の業績(令和2年2月1日～令和2年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年1月期第1四半期	282	67.2	287		285		312	
2年1月期第1四半期	859	3.3	27	61.8	30	59.3	22	62.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年1月期第1四半期	120.07	
2年1月期第1四半期	8.42	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年1月期第1四半期	6,371	3,154	49.5	1,212.85
2年1月期	6,865	3,511	51.1	1,350.14

(参考)自己資本 3年1月期第1四半期 3,154百万円 2年1月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年1月期		0.00		5.00	5.00
3年1月期					
3年1月期(予想)		0.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和3年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 令和3年1月期の業績予想(令和2年2月1日～令和3年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年1月期1Q	2,628,000 株	2年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	3年1月期1Q	27,384 株	2年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年1月期1Q	2,600,616 株	2年1月期1Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

令和3年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、現時点で適正かつ合理的な算定が困難なため、未定といたします。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、急速に悪化し極めて厳しい状況が続きました。

飲食業界におきましては、従来からの人手不足や消費増税による消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による政府・東京都からの外出自粛要請や外食・宴会に対する注意喚起などから極めて厳しい経営環境が続いています。

そうした状況下、当社においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、過去に類を見ないほど業績が低迷する事態になりました。本年1月中旬より上野公園への来園者数が減少しはじめ、2月以降は、行動自粛によるレストラン来店客数の減少や宴会のキャンセルが相次ぎました。

当社といたしましては、お客様及び従業員の感染防止を最優先課題と位置づけ、マスク着用、消毒・手洗い・うがいの徹底、従業員の体調管理、一部店舗の時間短縮営業など、様々な対策を講じて参りました。4月9日からは、政府の緊急事態宣言をうけ、全店を休業いたしました。休業期間中は、原則、従業員が休暇を取得する一方で、営業再開にむけた対策の具体的な検討を進めて参りました。非常事態宣言の解除をうけ、6月に入り、一部の店舗にて営業を再開いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は282百万円（前年同期比67.2%減）となりました。営業損失は287百万円（前年同期は営業利益27百万円）、経常損失は285百万円（前年同期は経常利益30百万円）、四半期純損失は312百万円（前年同期は四半期純利益22百万円）となりました。

今後もお客様、従業員の安全を最優先課題とし、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、様々な対策を講じて参ります。加えて、今回の事象を機に新たな生活スタイルや業界動向の変化を踏まえ、当社の強みを活かした新たな営業スタイル、接客手法等を探求して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ493百万円減少し6,371百万円となりました。流動資産は437百万円減少の4,526百万円、固定資産は56百万円減少の1,845百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が329百万円及び売掛金が90百万円減少したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が48百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ136百万円減少し、3,217百万円となりました。流動負債は130百万円減少の272百万円、固定負債は6百万円減少の2,945百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金が62百万円及び未払金が56百万円減少したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、繰延税金負債が10百万円増加した一方で、長期前受収益が18百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ357百万円減少し3,154百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失の計上等で利益剰余金が325百万円及びその他有価証券評価差額金が32百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、本年2月以降、国内外で大規模な行動自粛の措置がとられる中、企業及び消費活動は停滞し、国内経済は急速に悪化いたしました。

5月下旬には緊急事態宣言が全国で解除されましたが、未だ完全な新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せない中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であり、令和3年1月期第2四半期及び通期業績の予想は引続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,795,792	4,466,318
売掛金	93,799	3,888
たな卸資産	34,289	30,953
その他	39,380	24,622
貸倒引当金	△29	△1
流動資産合計	4,963,230	4,525,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	370,718	362,407
土地	603,188	603,188
その他(純額)	61,493	62,228
有形固定資産合計	1,035,399	1,027,823
無形固定資産		
投資その他の資産	2,023	2,023
投資有価証券	807,318	759,365
その他	56,692	56,248
投資その他の資産合計	864,010	815,613
固定資産合計	1,901,432	1,845,459
資産合計	6,864,662	6,371,238
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,714	2,140
未払金	107,069	51,197
未払費用	52,107	53,822
未払法人税等	14,976	431
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	30,600	62,500
その他	61,629	29,680
流動負債合計	402,743	272,417
固定負債		
退職給付引当金	507,281	506,130
役員退職慰労引当金	118,086	121,307
繰延税金負債	116,919	127,261
長期前受収益	2,201,683	2,183,521
その他	6,767	6,449
固定負債合計	2,950,735	2,944,669
負債合計	3,353,478	3,217,085

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	3,046,957	2,721,702
自己株式	△20,650	△20,650
株主資本合計	3,162,037	2,836,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349,147	317,370
評価・換算差額等合計	349,147	317,370
純資産合計	3,511,184	3,154,152
負債純資産合計	6,864,662	6,371,238

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至平成31年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自令和2年2月1日 至令和2年4月30日)
売上高	859,485	281,568
売上原価	345,835	191,984
売上総利益	513,650	89,584
販売費及び一般管理費	486,619	376,582
営業利益又は営業損失(△)	27,031	△286,998
営業外収益		
受取利息	572	576
受取配当金	762	690
雑収入	1,402	1,446
営業外収益合計	2,735	2,712
営業外費用		
減価償却費	-	639
営業外費用合計	-	639
経常利益又は経常損失(△)	29,767	△284,926
特別損失		
固定資産除却損	296	254
特別損失合計	296	254
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	29,470	△285,180
法人税、住民税及び事業税	13,627	253
法人税等調整額	△6,063	26,819
法人税等合計	7,563	27,071
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,907	△312,251

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、令和2年度中は完全に回復せず、令和3年度期首以降は例年並みの需要が見込まれると仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び減損損失の認識の判定等の会計上の見積りを行っております。